

人を育てる支援

学校司書研修(教育委員会主催)平成26年10月2日(木)

松江市学校図書館支援センター(松江市教育委員会に設置)から林良子指導講師をお迎えし、その豊富な知識と実践から「学校司書に期待すること」と題した研修が実施されました。学校司書の配置により、校内での協働ができ、学校図書館活用の授業が行えるようになったことなどをお話しいただきました。実践者からのお話や助言はとても良い助けになりました。学校司書が一層力を発揮できるよう皆で協力しましょう!

児童生徒の育ちをイメージし、授業者の願いを知るために学校司書が頑張っていることは、

記録

コミュニケーション

想像力/創造力

研鑽

子ども読書活動支援専門ボランティア(おはなしゆうびんやさん)

* 養成講座(連続講座)*

ブックトークやストーリーテリングを行う専門ボランティアの養成講座を毎年実施しています。

今年度は、学校で実際に実践されている経験者の方におけた講座をしました。

現在、この講座をうけて、登録されている方は49名です。

27年度は初めての方を優先に開催していく予定です。

興味のある方は是非参加してください。

* 過去の講座の課題図書を紹介しています *

出雲市図書館HPの [おすすめ・紹介本](#) の

[学校図書館支援センター 子ども読書推進係](#) に掲載

雑誌「学校図書館」バックナンバー(平成25年4月号以降)が学校図書館支援センターにあります。

学校図書館の状況や記事が掲載されていますので、興味がある方(学校関係者)には貸出します。

どうぞご利用ください。

DVD「学びを支え 心をはぐむ しまねの学校図書館」(平成22年島根県教育委員会制作)は、各学校へ配布されています。「学校図書館活用教育推進体制」「読書活動」「調べ学習」の紹介DVDです。教職員全員の研修会に活用し、学校図書館がもっと活用できることを理解してみませんか。



巣立ちを迎える子どもたち

読書ヘルパー研修から *学校図書館に関わる方々の研修はプログラムにより実施しています*

基本研修 平成26年5月14日(水)及び16日(金)
レファレンス・ブックを使って、調べてまとめをしました。普段子どもたちがしている「調べ学習」を体験をする研修にしました。(話し合ってまとめることがこんなに楽しい!と実感できました。)情報交換もお互いが同じ作業をしたことでとても弾んでいました。

資料整備研修 平成26年7月23日(水)
資料整備の技術を学びました。今年度は修理の方法(背表紙が取れ、ばらばらになってしまった本)ということで、その方法も難しいものとなったのですが、本の仕組みがわかる貴重な学習の場となりました。(皆様、本当にお疲れ様です)資料整備の研修は大人数では開催できないことや、装備付で図書を購入する学校も多くなり、この研修の必要性も検討し、資料整備に役立つ研修をと考えています。

読書活動研修 平成26年11月26日(水)
子どもと本をつなぐ「ブックトーク」について、昨年に引き続き、宇田祥子さんのブックトークを聞き学びました。良質で豊かな子どもの本を手渡すことがいかに大切であるか、知識や方法について教えていただきました。

「選書はブックトークの生命」 *講師の言葉から*

- ① 不朽の名作を沢山読むこと。
 - ② この本を子どもたちに渡したいと思える本をふやしていくこと
- このことによって、ブックトークにおいて何より大切な選書の力がついていく。

積み重ねが学校図書館の力になることを確信して、来年度も一緒に歩みましょう

子ども読書活動支援事業(ゆうびんやさん)実施件数

*平成26年度(2月末まで)

ストーリーテリング実施件数 255件

ブックトーク実施件数 65件



真剣でも楽しい研修でした。



あしがき 函

学校図書館は本当に子どもたちに親しまれる場所となっているのでしょうか。

平成20年度に読書ヘルパーが配置されてから、少しずつ「人のいる図書館」となり、更に10校ですが、今年度から学校司書がいることにより、学ぶことができる場所としても変わりつつあります。

子どもたちが知りたいことや読みたい本があると相談した時、「学校図書館にあるよ。」「学校図書館で聞いてね」と答えることができるようになったら良いですね。

まずは、大人が「学校図書館」が役にたつ場所と感ずるよう積極的に活用してみてもいいでしょうか。

伊野コミュニティセンターにて

楽天移動図書館が出雲市にも来ました

